

様式3 (記載例)

愛玩動物看護師養成所指定申請書
(法附則第2条第1号ハ及びニ関係)

1 名称	霞が関動物看護スクール動物看護学科 ○○コース (平成23年度～平成30年度)		4 連絡者 過去に養成所の名称が変更された場合は、変更前後の名称と入学年度を記載してください。	
	霞が関動物看護専門学校動物看護学科 △△コース (平成31年度～令和3年度)			
2 位置	東京都千代田区霞が関×-×-×		氏名	○○ ◇◇
3 設置者 ※法人にあっては、 名称及び主たる事務 所の所在地	氏名	学校法人 霞が関学園	役職名	事務局長
	住所	東京都千代田区霞が関×-×-×	TEL	XX-XXXX-XXXX
			FAX	XX-XXXX-XXXX
			E-mail	xxxxxxx@xxx.xx.jp
	養成所 長氏名	校長 ○○ △△ (事務管理を引き継いでいる養成所が代理申請する場合は、事務管理を行っている養成所の名称及び養成所長名)		
設置年 月日	平成23年4月1日～ 例1：令和4年4月入学生については、法第31条第2号の養成所指定申請予定 例2：令和4年4月入学生までを特例措置の対象として申請（令和5年度入学生から、法第31条第2号の養成所申請予定） 例3：令和4年4月入学生までを特例措置の対象として申請（令和5年度以降については未定）			

2年制の養成所の記載例

5 種類等	愛玩動物看護師養成所	■法附則第2条第1号ハ ■法附則第2条第1号ニ	1学年定員40名 (2年制)
6 学生在籍 状況	1年生 (令和4年4月入学、令和6年3月卒業予定)		40人 (予定)
	2年生 (令和3年4月入学、令和5年3月卒業予定)		42人
	3年生 (令和 年 月入学、令和 年 月卒業予定)		人

3年制の養成所の記載例 (令和4年4月から法第31条第2号の養成所に移行する場合)

5 種類等	愛玩動物看護師養成所	■法附則第2条第1号ハ ■法附則第2条第1号ニ	1学年定員40名 (3年制)
6 学生在籍 状況	1年生 (令和4年4月入学、令和7年3月卒業予定) (法第31条第2号の養成所指定申請予定)		40人 (予定)
	2年生 (令和3年4月入学、令和6年3月卒業予定)		42人
	3年生 (令和2年4月入学、令和5年3月卒業予定)		40人

3年制の養成所の記載例 (令和5年4月から法第31条第2号の養成所に移行する場合)

5 種類等	愛玩動物看護師養成所	■法附則第2条第1号ハ ■法附則第2条第1号ニ	1学年定員40名 (3年制)
6 学生在籍 状況	1年生 (令和4年4月入学、令和7年3月卒業予定)		40人 (予定)
	2年生 (令和3年4月入学、令和6年3月卒業予定)		42人
	3年生 (令和2年4月入学、令和5年3月卒業予定)		40人

2年制から3年制へ移行する養成所の記載例（令和4年4月から法第31条第2号の養成所に移行する場合）

5 種類等	愛玩動物看護師養成所	<input checked="" type="checkbox"/> 法附則第2条第1号ハ <input checked="" type="checkbox"/> 法附則第2条第1号ニ	1 学年定員40名 <small>（2年制：令和3年入学生まで）</small> 1 学年定員60名 <small>（3年制：令和4年入学生から）</small>
6 学生在籍状況	1年生（令和4年4月入学、令和7年3月卒業予定）（法第31条第2号の養成所指定申請予定）		60人（予定） （3年制）
	2年生（令和3年4月入学、令和5年3月卒業予定）		42人 （2年制）
	3年生（令和2年4月入学、令和4年3月卒業予定）		40人 （2年制）

（記入上の注意）

- ・「5 種類等」について、法附則第2条第1号ハ及びニの養成所指定を同時に申請する場合は、両方の欄にチェックすること。法附則第2条第1号ハ又はニのいずれかの養成所指定申請の場合は、いずれかにチェックすること。
- ・「6 学生の在籍状況」については、法附則第2条第1号ハの養成所指定申請のみを行う場合は記入しないこと。

添付書類

学則（※指定に係る期間の最初の年度のもの）

【記載例（補足）】

1 「1 名称」について

指定を受ける養成所名称と合わせて学科、専攻又はコース等の名称の名称を記載してください。養成所指定前に養成所（学科、専攻又はコース等を含む）の名称が変更された場合には、その名称と入学年度を記載してください。複数の名称を記載する場合、指定当初以降の養成所の名称を別紙に記載することも差し支えありません。

2 「3 養成所長氏名」について

学校の校長等、申請時点の教育組織関連を管理する責任者を記載してください。理事長等、学校経営の責任者がこれと別に存在する場合は、学校経営の責任者ではなく、教育組織関連を管理する責任者を記載してください。

また、養成所指定申請の際、既に当該養成所が閉校している場合は、その事務（学生名簿や履修状況等）を管理している法人が受験申請に必要な書類（養成所卒業証明書）を発行できる場合は、閉校した養成所に代わり当該法人が申請しても差し支えありません。

3 「3 設置年月日」について

養成所指定規則附則別表等に対応した授業を開講した年月日を記載してください。また、当該養成所について、今後法第31条第2号に基づく養成所指定の予定の有無が分かるよう、記載例を参考に記載してください。

4 「4 連絡者」について

都道府県から申請書に関して問合せを行う場合の連絡先（氏名、申請時点の役職、電話番号等）を記載してください。

5 「5 種類等」について

法附則第2条第1号ハ及びニのいずれかを申請する場合は、該当する項目にチェック又は「□」を「■」としてください。同時に申請する場合は、両方の項目にチェック又は「□」を「■」としてください。また、申請時点で在学する学年の定員および修業年限を記載してください。

6 「6 学生の在籍状況」について

3年制、2年制のいずれの場合であっても、1年生については令和4年4月入学予定者、2年生には令和3年4月入学者を記載してください。4年制の養成所の場合は、行を追加してください。

(参考様式1 (記載例))

養成所の長に関する調書

附則2条第1号ハ(既卒者)及びニ(在学者)の養成所指定に当たって必要な書類です。

		養成所名		霞が関動物看護スクール動物看護学科〇〇コース		
氏名	〇〇 △△		現住所	東京都〇〇区〇〇△丁目△番△号	性別	男・女
生年月日	19XX年 XX月 XX日 (〇歳)		職種			
免許登録番号	第	号	免許登録年月日	年	月	日
所属施設名	霞が関動物看護専門学校		所在地	東京都千代田区霞が関×-×-×		
卒業学校・養成所名	霞が関大学		1990年 3月卒	専攻	教育学科	
			年 月 卒	専攻		
職歴	年	月	(記載例A)	年	月	(記載例B)
	90	4	〇〇専門学校教員	90	4	〇〇動物病院
	95	4	△△専門学校教員	95	4	△△動物病院
	00	4	霞が関動物看護スクール教員	00	4	霞が関動物看護スクール教員
	05	4	霞が関動物看護スクール副校長	18	4	霞が関動物看護専門学校教員
	10	4	霞が関動物看護スクール校長			
18	4	霞が関動物看護専門学校校長				
教育歴			(記載例A) 同上	00	4	(記載例B) 霞が関動物看護スクール専任教員として従事
				18	4	霞が関動物看護専門学校専任教員として従事
研究発表又は論文	07	4	動物教育における課題と現状(雑誌名、巻数)	98	4	小動物診療における補助者について(雑誌名、巻数)
				99	4	骨折に対する新たなアプローチ(第〇回△△学会発表)

(記入上の注意)

- 「職種」については、獣医師である場合には「獣医師」と、愛玩動物看護師である場合には「愛玩動物看護師」と記入し、同等以上の学識経験を有する者については記入しないこと。
- 研究発表又は論文は、主なものを記入し、1枚にまとめること。

(添付書類)

免許証の写しを添付すること。

記載例

- 養成所の長の氏名・現住所・性別について

申請書の養成所長氏名と合わせてください。現住所は、養成所指定申請時に養成所に勤務していない場合、養成所長の現住所を記載してください(既に養成所に勤務している場合においては記載不要)。

性別については、該当する項目を□で囲んでください。

附則第2条第1号ハ(既卒者)のみの申請を行う場合は、申請の際現に養成所の長である者を記載してください(過去に遡って提出する必要はありません)。なお、養成所が閉校している場合は、その事務(学生名簿や履修状況等)を管理している法人が受験申請に必要な書類(養成所卒業証明書)を発行できる場合は、閉校した養成所に代わり当該法人が申請しても差し支えありません。その場合、養成所の長の略歴はその事務を管理している法人の長に関する調書を提出してください。

2 職種、免許登録番号、免許登録年月日について

獣医師又は愛玩動物看護師である場合のみ記載してください。なお、養成所長が獣医師又は愛玩動物看護師である必要はありません。また、添付書類の免許証については、獣医師又は愛玩動物看護師である場合に限り、獣医師免許又は愛玩動物看護師免許を添付してください。

3 職歴、教育歴、研究発表又は論文について

原則として職歴及び教育歴は全て記載してください。ただし、1枚に収まりきらない場合は、主なものを記載することで差し支えありません。

(参考様式2 (記載例:専任教員))

教員 (専任・兼任) に関する調書 (記載例)

附則2条第1号ニ(在学者)の養成所指定に当たって必要な書類です。(ハ(既卒者)のみの養成所指定の場合は提出する必要はありません。)指定申請時点について記載してください。養成所指定規則で定める科目を担当する教員を記載してください。(一般教養科目など養成所指定規則に含まれない科目については、記載する必要はありません。)

		養成所名		霞が関動物看護専門学校動物看護学科△△コース	
氏名	○○ ◆◆	現住所	東京都○○区○○△丁目△番△号	性別	男・ <input checked="" type="checkbox"/> 女
生年月日	1980年 5月 1日 (41歳)	職種			
免許登録番号	第 号	免許登録年月日	年 月 日		
所属施設名	霞が関動物看護専門学校	所在地	東京都千代田区霞が関×-×-×		
卒業学校・養成所名	霞が関大学	2002年 3月卒	専攻	○○学科	
		年 月 卒	専攻		
職歴	年 月		年 月		
	02 4	○○株式会社			
	05 4	△△専門学校教員			
	10 4	霞が関動物看護スクール教員			
18 4	霞が関動物看護専門学校教員				
教育歴	05 4	△△専門学校教員			
	10 4	霞が関動物看護スクール教員			
	18 4	霞が関動物看護専門学校教員			
研究発表又は論文		特になし			
担当科目	動物福祉・倫理、伴侶動物学、人間動物関係学				

(記入上の注意) (添付書類) (略)

記載例

- 1 教員の氏名・現住所・性別について
現住所は、養成所指定申請時に養成所に勤務していない場合、教員の現住所を記載してください(現に養成所に勤務している場合においては記載不要)。
性別については、該当する項目を□で囲んでください。
- 2 職種、免許登録番号、免許登録年月日について
獣医師又は愛玩動物看護師である場合のみ記載してください。添付書類の免許証については、獣医師又は愛玩動物看護師である場合に限り、獣医師免許又は愛玩動物看護師免許を添付してください。
- 3 職歴、教育歴、研究発表又は論文について
原則として職歴及び教育歴は全て記載してください。ただし、1枚に収まりきらない場合は、主なものを記載することで差し支えありません。

(参考様式2 (記載例: 兼任教員))

教員 (専任・**兼任**) に関する調書 (記載例)

附則2条第1号ニ(在学者)の養成所指定に当たって必要な書類です。(ハ(既卒者)のみの養成所指定の場合は提出する必要はありません。)指定申請時点について記載してください。養成所指定規則で定める科目を担当する教員を記載してください。(一般教養科目など養成所指定規則に含まれない科目については、記載する必要はありません。)

		養成所名		霞が関動物看護専門学校動物看護学科△△コース		
氏名	○○□□		現住所	東京都○○区○○△丁目△番△号	性別 <input checked="" type="checkbox"/> 男・女	
生年月日	1975年 5月 1日 (51歳)		職種	○○動物病院獣医師		
免許登録番号	第00000号		免許登録年月日	2000(平成12年)年4月1日		
所属施設名	○○動物病院		所在地	東京都○○市○○△丁目△番△号		
卒業学校・養成所名	○○大学 2000年 3月卒		専攻	獣医学科		
	年 月 卒		専攻			
職歴	年	月			年	月
	00	4	□□動物病院			
	04	4	△△動物病院			
	10	4	○○動物病院			
	12	4	××専門学校兼任教員			
21	4	霞が関動物看護専門学校兼任教員(予定)				
教育歴	12	4	××専門学校兼任教員			
研究発表又は論文	09	11	形態に着目した動物看護学(第○回○○学会発表)			
担当科目	動物内科看護学、動物内科看護学実習					

(記入上の注意) (添付書類) (略)

記載例

- 1 教員の氏名・現住所・性別について
現住所は、養成所指定申請時に養成所に勤務していない場合、教員の現住所を記載してください(既に養成所に勤務している場合においては記載不要)。
性別については、該当する項目を□で囲んでください。
- 2 職種、免許登録番号、免許登録年月日について
獣医師又は愛玩動物看護師である場合のみ記載してください。添付書類の免許証については、獣医師又は愛玩動物看護師である場合に限り、獣医師免許又は愛玩動物看護師免許を添付してください。
- 3 職歴、教育歴、研究発表又は論文について
原則として職歴及び教育歴は全て記載してください。ただし、1枚に収まりきらない場合は、主なものを記載することで差し支えありません。

(参考様式3 (記載例))

教員の氏名・担当科目・専任又は兼任の別

附則2条第1号ニ（在学者）の養成所指定に当たって必要な書類です。（ハ（既卒者）のみの養成所指定の場合は提出する必要はありません。）指定申請時点について記載してください。養成所指定規則で定める科目を担当する教員を記載してください。（一般教養科目など養成所指定規則に含まれない科目については、記載する必要はありません。）

専任等区分	職位	年齢	氏名	養成所名		霞が関動物看護専門学校動物看護学科△△コース			
				担当授業の名称	担当授業時数	現職	免許（登録番号）	実務経験	
								教育（年）	臨床（年）
専任	副校長	55	〇〇□□	動物福祉・倫理 伴侶動物学 人間動物関係学	〇時間 ／週	副校長	—	25年	—
専任	主任	45	〇〇□□	動物栄養学	〇時間 ／週	主任	—	10年	—
専任	講師	45	〇〇□□	動物感染症学	〇時間 ／週	講師	獣医師 (第〇〇号)	5年	10年
兼任	教員	65	〇〇□□	動物形態機能学 動物形態機能学実習	〇時間 ／週	〇〇大学非常勤講師	—	30年	—
兼任	教員	55	〇〇□□	動物内科看護核 動物内科看護学実習	〇時間 ／週	〇〇動物病院	獣医師 (第〇〇号)	—	30年
兼任	教員	35	〇〇□□	動物生活環境学	〇時間 ／週	〇〇専門学校教員	—	5年	—

記載例

1 専任等区分について

専任教員の場合は「専任」、兼任教員の場合は「兼任」と記載してください。

2 職位について

養成所における職位を記載してください。

3 氏名について

申請時点で最新の教員名簿に基づき、提出してください。

4 担当授業の名称、担当授業時数

当該教員が担当する授業の科目名称を記載してください。

担当授業時数については、当該教員が通常担当する1週間当たりの授業時数を記載して下さい。1つの科目を複数の教員が担当する場合は、例を参考に授業時数を記載してください。

(例1) 週4時間の1科目の授業（講義）を2人の教員がオムニバス方式で受け持つ場合
→それぞれ週2時間

(例2) 週6時間の実習を常時3人の教員が受け持つ場合
→それぞれ週6時間

また、参考様式4で提出する科目名と担当授業の名称が異なる場合は、当該養成所で開講している科目が分かる資料（教育課程表等）を併せて提出してください。

5 現職について

養成所指定申請の際、現に当該養成所で勤務している場合は、養成所名を省略して差し支えありません。

6 免許（登録番号）について

獣医師又は愛玩動物看護師の免許を有している場合、免許の種類及び登録番号を記載してください。獣医師又は愛玩動物看護師の免許を有していない場合は「－」を記載してください。

7 実務経験について

教育又は臨床に携わった年数を記載してください。

(参考様式4 (記載例))

授業科目の概要

附則第2条科目に対応した授業を開講する(した)最初の年度	平成23年度
附則第2条科目に対応した授業を開講する(した)最後の年度	令和3年度

※附則第2条科目に対応した授業を開講する(した)最初の年度及び最後の年度には、入学年度を記載すること。

附則第2条科目に対応した授業を開講する(した)最初の年度の科目の概要について記載すること。

養成所指定規則に定める科目名	養成所指定規則に定める時間数	養成所名	学則に定める授業科目(注)	学則に定める時間数(単位数)	概要(注)
動物形態機能学	1,650時間	霞が関動物看護スクール 動物看護学科〇〇コース	動物形態機能学	120時間 (〇単位)	
動物繁殖学			動物繁殖学	30時間 (〇単位)	
動物病理学			動物病理学	30時間 (〇単位)	
動物薬理学			動物薬理学	60時間 (〇単位)	
動物感染症学			—	90時間 (〇単位)	
			動物感染症学総論	60時間 (〇単位)	
			病原体・衛生管理学	30時間 (〇単位)	感染防御に関わる免疫の基礎を理解する。
動物看護学概論			動物看護学概論	60時間 (〇単位)	
動物医療関連法規			動物医療関連法規	30時間 (〇単位)	
公衆衛生学			公衆衛生学	60時間 (〇単位)	
人間動物関係学			人間動物関係学	30時間 (〇単位)	
動物福祉・倫理			動物福祉学	30時間 (〇単位)	動物福祉の概念や理念について学ぶ。
動物行動学			動物行動学	30時間 (〇単位)	
伴侶動物学			飼養管理学	180時間 (〇単位)	伴侶動物の飼養管理法を学ぶ。
産業動物学			飼養管理学(重複)	180時間 (〇単位)(重複)	産業動物の飼養管理法を学ぶ。
実験動物学			飼養管理学(重複)	180時間 (〇単位)(重複)	実験動物の飼養管理法を学ぶ。
野生動物学			飼養管理学(重複)	180時間 (〇単位)(重複)	野生動物の保全について学ぶ。
動物内科看護学			動物内科看護学	30時間 (〇単位)	
動物外科看護学			動物外科看護学	60時間 (〇単位)	
動物臨床看護学総論			動物臨床看護学総論	30時間 (〇単位)	
動物臨床看護学各論			動物臨床看護学各論	120時間 (〇単位)	

動物臨床栄養学		動物栄養学	60時間 (○単位)	
動物臨床検査学		動物臨床検査学	60時間 (○単位)	
動物医療 コミュニケーション		院内コミュニケーション	30時間 (○単位)	院内コミュニケーションの基礎を学ぶ。
動物形態機能学実習		動物形態機能学演習	45時間 (○単位)	
動物内科看護学実習		グルーミング実習	90時間 (○単位)	保定、バイタルチェック、グルーミング等について学ぶ。
動物外科看護学実習		動物外科看護学実習	90時間 (○単位)	
動物臨床看護学実習		動物臨床看護学実習	90時間 (○単位)	
動物臨床検査学実習		動物臨床検査学実習	45時間 (○単位)	
動物看護総合実習		—	180時間 (○単位)	
		総合臨床実習	150時間 (○単位)	動物病院等において、実践的な看護について学ぶ。
		インターンシップ	30時間 (○単位)	牧場、動物園、水族館等において、実践的な看護を学ぶ。

(注) 学則に定める授業科目の名称が、指定規則附則別表に定める科目の名称と同一である場合には、科目の概要の記載を省略して差し支えない。また、学則に定める科目の名称が、次のいずれかに該当する場合には、指定規則附則別表に定める科目の名称に該当するものとして取り扱って差し支えない。

- ア 科目名の末尾に、「原論」、「(の) 原理」、「総論」、「概論」、「概説」、「論」、「法」、「(の) 方法」及び「学」のうち、いずれかの語句又は複数の語句が加わる場合
- イ 科目名の末尾に、「Ⅰ」、「Ⅱ」、「A」、「B」等が加わることにより、複数の科目に分割されているが、対応する科目と同等の授業内容である場合
- ウ 履修すべき科目名が、授業科目名の中に含まれている場合

記載例

1 学則に定める授業科目について

学則に記載している授業科目を記載してください。養成所指定規則に定める科目以外の科目（例えば、英語やパソコンスキルなどの一般教養科目）については記載する必要はありません。

2 学則に定める時間数（単位数）について

学則に定める時間数(単位数)を記載してください。学則に単位数を定めていない場合には、単位数を記載する必要はありませんが、学則に単位数のみ記載している場合は、時間数に換算して記載してください。また、指定規則に定める時間数より多い時間数の授業を行うことは差し支えありませんが、少ない時間数の場合は養成所の指定基準を満たさないと判断します。

3 概要について

(注) で記載しているとおり、学則に定める授業科目（以下、「授業科目」という。）の名称

が、指定規則別表に定める科目（以下、「指定科目」という。）の名称と同一の場合には、概要の記載を省略して差し支えありません。授業科目の名称が、指定科目の名称と異なる場合は、概要を記載してください。

4 1つの指定科目に対して複数の授業科目が該当する場合（授業科目を分割して開講する場合）について

授業科目ごとに行を追加し、学則に定める時間数等との対応がわかるように記載してください。最上段には合計の時間数を記載してください。

（例：「動物感染症学」に当たる科目として、「動物感染症学総論」、「病原体・衛生管理学」の2科目を開講）

5 複数の指定科目に1つの授業科目が該当する場合（授業科目を統合する場合）について

指定科目ごとに授業科目の名称と学則に定める時間数を記載し、2つ目以降の授業科目の名称及び学則に定める時間数（単位数）の末尾に「(重複)」と記載してください。

（例：「伴侶動物学」、「産業動物学」、「実験動物学」及び「野生動物学」に当たる科目として、「飼養管理学」を開講）